

いすゞ東北

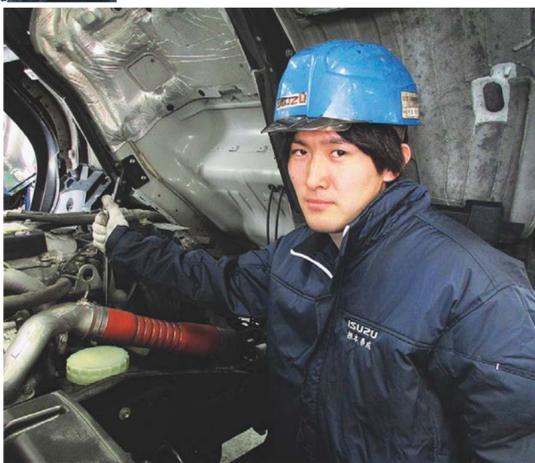
＜会社概要＞▽設立＝2012年4月1日▽
本社＝仙台市宮城野区中野4-10-14▽
代表者＝小谷哲司社長▽社員数＝1025人
▽拠点数＝28



**仙台支店
仙台サービスセンター
サービス課
根本 泰成さん**
入社6年目で一般整備や車検整備を担当している。「難しい整備を終えた時は達成感があり、やりがいを感じます」と話す。
いすゞ東北を就職先に選んだ理由については「土日が休みで福利厚生がしっかりしている点に魅力を感じたからです。土日が休みだと地元の人と予定を合わせやすく、趣味のドライブやツーリングを楽しめます」と笑顔で語る。
職場には後輩も多い。「多い年には、新人5人が入社したこともあり、現在は8人ほどの後輩がいます。後輩には丁寧にアドバイスをしています」と話

高難度修理に対応できるように

＜プロフィール＞ねもと・たいせい 花壇自動車大学卒業、2020年4月入社。趣味はドライブとツーリング。仙台市青葉区出身、26歳



外国人のサービスエンジニアも10人ほど在籍しており、「仲良く仕事をしていきます」と語る。
また、先輩のサービスエンジニアも20人ほどおり、「分からないことがあれば丁寧に教えてくれる頼りがいがある先輩ばかりです」と強調する。
サービスエンジニアを志したきっかけは「父親がバイクや車に興味を持っていて、小学生のころからその影響を受けていました」と振り返る。
今後については「高難度修理にも対応できるサービスエンジニアになることが目標です」と抱負を語った。

ホンダ四輪販売中央東北

＜会社概要＞▽設立＝2025年10月▽本社＝岩手県奥州市水沢佐倉河字沼田69▽代表者＝渡邊健一郎社長▽社員数＝246人▽拠点数＝16



**八王寺店
サービススタッフ
高橋 海唯南さん**
入社3年目で主に車検整備を担当している。「最初は仕事を覚えることが大変でしたが、最近はお客さまにどのように喜んでもらえるかを考えて仕事ができるようになり、楽しく仕事をしています」と笑顔を見せる。
整備士を目指すとしたきっかけは「盛岡短期大学在学中は保育学科に籍を置き、保育士を目指していましたが、自分の成長が分かりにくい仕事だと思っていました。そんな時に愛車を整備してもらった時に整備士の仕事が格好良いと思いました」と説明する。
大学卒業後は保育園に就職した。その後、現在の会社を選んだ理由は「未経験でも採用してくれることです。入社してから資格を取得し、2025年1月に自動車整備士の3級に合格しました」と話

知識が増えていくことに楽しさ

＜プロフィール＞たかはし・みいな 2019年3月盛岡短期大学卒業、23年4月入社。趣味は山登り。自然を歩くことも好き。秋田県美郷町出身、26歳

同社に女性の整備士は当人しか在籍していないが、「女性、男性の性別は気にしていません。重整備は男性の整備士に助けけてもらっているのでもかかっています」と語る。
最近「故障診断の仕事が楽しいと感じています。異音が生じている場所を自分で調べたり、先輩に教えてもらって特定するなど、自分の知識が増えることが楽しく感じています」と目を輝かせる。
現在は2級の資格取得を目指している。「2級を取った後は1級、検査員の資格も取得したいと思っています」と今後を述べる。



福島ダイハツ

＜会社概要＞▽設立＝1948年6月▽本社＝福島県福島市下鳥渡字八幡塚14-1▽代表者＝藤野弘高社長▽社員数＝196人▽拠点数＝7



**いわき小名浜店
サービスエンジニア
園部 暁平さん**
小さい頃から働く車をはじめ車検が好きで、中学生から整備士を目指したいと進路を決めた。専門学校で二級自動車整備士資格を取得し、日本独自の軽自動車に興味を持ち、地元の福島ダイハツに入社を希望した。
配属から約3年、主に定期点検作業などをこなしている。仕事でのやりがいは「お客さまが気付いていない箇所の不具合を見つけて直せたり、整備引き渡しの時に、ありがとうといった感謝の言葉をいただくときは本当にうれしいです」と笑顔を見せる。
快適な空調や最新設備が

お客さまに沿った提案できれば

＜プロフィール＞そのべ・しょうへい 日本自動車大学校自動車研究科卒業、2024年4月入社。趣味は好きなドライブプロセットに、スウィッチとコーヒを楽しむカフェ巡り。愛車はコペンセロ。いわき市出身、24歳

整備作業を進めつつ、お客さまに沿った提案ができるよう取り組んでいきたい」と常に先輩たちに追いつくことを目標とする。
将来はダイハツ検定1級、自動車検査員資格などを目指し、現在3級にチャレンジしている。最短ですべての取得も視野に入れている。「資格は取れる時に取って、仕事のなかでフルに生かしていきたい」と常に日々勉強を貫いている。



トヨタモビリティ東京

＜会社概要＞▽設立＝2000年8月(トヨタアドミニスタ東京)。19年4月(社名変更)。▽本社所在地＝東京都港区芝浦4-8-3▽代表者＝佐藤康彦社長▽社員数＝約7700人▽拠点数＝トヨタ店舗176(新車・中古車・GR Garage)、雷克萨斯店舗25



**清瀬店
増田 有希さん**
中古車販売店を経営する父親の影響を受け、自動車整備士になることを決めた増田有希さん。「父親が営む工場に入社する機会が多く、自然と自動車整備に興味を持つようになった」と話す。
トヨタ系列の販売会社で働きたいという思いから、トヨタ東京自動車大学校に入社。早く現場で働いて経験を積みたいと考え、2年間で卒業して入社した。
2022年4月に入社した増田さんは、1年目に清瀬店(東京都清瀬市)を含め近隣の3店舗を経験。それぞれの店舗で入庫する車両の傾向が異なり良い経験になったという。「女性

体を効率的に使いながら力を補う

＜プロフィール＞ますだ・ゆき トヨタ東京自動車大学校卒業、2022年4月入社。趣味は、デイズニールと旅行。愛車は「GR86」。埼玉県狭山市出身



また、社内大会のサービスチャレンジャー2024にも出場した経験を持つ。惜しくも銀賞ではあったが、その際に他店舗の女性エンジニアとも知り合いとなり、「とても良い刺激になった」



**渋谷代々木公園店
鄭 志奕さん**
鄭志奕(ジョン・ミンヒョク)さんは、機械じじりが好きだったことがきっかけで自動車整備士を目指した。韓国の高校に通っていた鄭さんは、将来の進路選択を悩んでいる時期に、日本に自動車整備士を養成する学校があると聞き留学することを決めた。トヨタ車に乗っていた父親からの勧めもあり、トヨタ東京自動車大学校に入社した。「世界的に有名なトヨタで最新技術を学び、将来は日本のトヨタディーラーで働きたい」と思っていたと話す。
鄭さんは、2級自動車整備士を取得するため2年間学校に通った。だが、韓国での兵役義務のため、学校

将来は工場を運営する人材になりたい

＜プロフィール＞鄭志奕(ジョン・ミンヒョク) トヨタ東京自動車大学校卒業、2023年4月入社。趣味は筋トレ。韓国・蔚山(ウルサン)出身、26歳

卒業後は韓国に一時帰国した。
兵役を終えて再び日本へ戻り、整備学校のサポートもあり、トヨタモビリティ東京(TM東京、佐藤康彦社長)に入社することができた。卒業から期間が空いたものの、TM東京には新人研修を1年かけて行う制度があった。
「正確な作業手順や知識などを改めて学ぶことができた」と振り返る。
今後については、「トヨタサービス技術検定1級の取得を目指し、将来的には工場長として工場を運営する人材になりたい」と意欲を示す。



度があったため、基本的な作業を改めて振り返ることができたという。
全国トヨタ販売店サービススキルコンテストに会社代表の1人として出場。チームとして金賞を獲得することができた。

シュテルン世田谷

〈会社概要〉▽設立=1988年6月▽本社所在地=東京都町田市鶴間7-2-1▽代表者=板東徹行社長▽社員数=639人▽拠点数=17



メルセデス・ベンツ 世田谷南整備グループ 大和田 修平さん
高校時代には高校球児として活躍し、鉄道会社への就職をきっかけに上京した。車への思いが強く、国産ディーラーに入社した。自動車整備士資格は持っていないが、働きながら整備士資格を取得した。縁あってシュテルン世田谷(板東徹行社長)へ2020年に転職した。

重整備増えて、より丁寧な作業、心掛け

世田谷南は、大型拠点の一つで、1日当たりの入庫台数もこれまで所属してきた店舗とは異なる。「重整備」の増加に伴って、これまで以上に緊張している。重整備の機会も多く与えられ、やりがいも感じている。最近では重整備の仕事も増えているため、部品を分解する作業も多いという。このため、ばらした順番をしっかりと覚えておく必要がある。また、家族と過ごす時間も大切にしたい。仕事と家庭の両立を図る。



〈プロフィール〉おねだ・しゅうへい 一関学院高等学校卒業。他社を経て、2020年にシュテルン世田谷入社。岩手県大船渡市出身、29歳。

日産東京

〈会社概要〉▽設立=2021年7月▽本社所在地=東京都品川区西五反田4-32-1▽代表者=菊地文夫社長▽社員数=2486人▽拠点数=新車100、中古車18



葛飾金町店(東京都葛飾区)の倉持水河さんは、高校時代の友人の影響で車やバイクに興味を持ったことをきっかけに、自動車整備士を目指そうになった。メーカー系の整備専門学校の方が就職に有利だと考え、自宅からも通いやすい日産栃木自動車大学校自動車整備科に進学した。両親が「パルサー」に乗っていたこともあり、幼いころから日産は身近な存在だった。福利厚生が充実していることや実家を離れて一人暮らしに挑戦したいという思いから、日産東京(現)に入社。板橋中台店(同板橋区)で過ごした新人時代は、個

フロント業務や顧客対応にも挑戦

人ブレイのイメージが強いメカニックだが、実際はチームワークが不可欠だということをおなだ」と当時の経験を振り返る。難解な整備要領書も、先輩から丁寧に教わった指導を受けたから自分の知識、経験として吸収していった。2023年の全国日産サービステクニク大会では新人部門に出場し、日産東京チームの総合3位獲得に貢献した。大会前に受けた集中特訓によって、「車に対する知識がより深まった。特に苦手を克服した故障探求も自信をもって臨めるようになった」と話す。大会出場を通じて得た知識や経験は、現在の業務に確実に生きていく。資格に関しては、全国の日産整備士の1%しか持たないとき

れる日産マスターテクニクシヤンHITTEQ(国家1級、日産1級TS、日産1級TA、HITTEQマスター)を所持する。仕事のかたわら勉強を重ね、国家1級を取得するなど、人一倍の努力家でもある。今後は整備技術のさらなる向上に加え、フロント業務やお客さま対応にも積極的に挑戦したいと考えている。また中堅として、ベテランと若手の間をつなぎ、チーム全体の活性化にも積極的に貢献。「店舗スタッフと良い関係を築きながら、チーム全体の力を高めたい」と話す。



〈プロフィール〉くもち・みづが 日産栃木自動車大学校自動車整備科卒業、2017年4月入社。休日は家族との時間を大切に。茨城県守谷市出身、29歳。

車検館

〈会社概要〉▽設立=2002年10月▽本社所在地=東京都八王子市堀之内3-27▽代表者=佐藤啓介社長▽社員数=100人▽拠点数=首都圏を中心に13、内直営店9(東京都8、神奈川県1)



江戸川中央店 トウラ・トゥンさん
江戸川中央店に勤務するトウラ・トゥンさんは、29歳で来日した。シンガポールの5年間の就労で学費を貯めて来日、日本語学校、整備専門学校を経て、中古車販売店で整備士としてのキャリアをスタートした。その後、さらなる技術向上と環境の変化を求め、一昨年に車検館へ入社した。彼の武器は、異国で培ったハングリー精神と誠実さだ。

ハングリー精神と誠実さを武器に

「車検館」は、彼にとって最高の学び場だ。現在は、車検や一般整備に加え、見積書作成からお客さまへの接客対応まで幅広くこなす。「あらゆるメーカーの車を問わず全車種を扱う『車検館』は、彼にとって最高の学び場だ。現在は、車検や一般整備に加え、見積書作成からお客さまへの接客対応まで幅広くこなす。「あらゆるメーカーの車を問わず全車種を扱う『車検館』は、彼にとって最高の学び場だ。現在は、車検や一般整備に加え、見積書作成からお客さまへの接客対応まで幅広くこなす。」

1の車に触られるのが楽しい。知識が増えるほど、自分ができることが広がるのを感じる」と語る。現場では先輩メカニックの指導の下、難易度の高い作業にも積極的に挑戦。忙しい時期でも「見て覚える」だけでなく、自らアドバイスを仰ぎ、着実にスキルを向上させている。また、日本語での丁寧な説明を心掛ける接客姿勢は、店舗の安心感にもつながっている。現在の目標は「自動車検査員」の資格取得だ。会社の



〈プロフィール〉日本工科大学国際自動車工学科卒業、2024年11月入社。休日は近所のグラウンドでサッカーをして過ごす。もうすぐ子どもを授かる。未来のパパ、ミャンマー・マンダレー出身、38歳。

南関東日野

〈会社概要〉▽設立=2021年7月▽本社所在地=東京都港区新橋5-18-1▽代表者=河崎俊哉社長▽従業員数=2007人▽拠点数=新車31

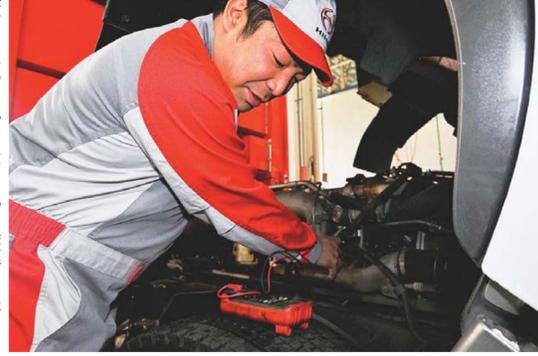


厚木支店 石井 政幸さん
機械じいりが好きで自動車整備士の道に入った南関東日野(河崎俊哉社長)の石井政幸さん。同社前身の横濱日野の厚木支店(神奈川県伊勢原市)で入社当初から勤務し、現場で実務経験を積んできた。「トラウクといえ『日野』というイメージで、就職先として日野自動車の販売会社を選んだ。点検、車検、一般整備など、現場の業務は一通り経験し、整備スタッフを取りまとめる班長も経験した。2024年には、日野の国内販売会社の中核人材育成プログラム「サービスマスターコース」に会社の代表として参加した。研修に

研修制度で広範な知識・理解深める

参加したいと思ったきっかけについて石井さんは「若い人たちに技術を教えることの難しさを感じていた。さらに日進月歩で車が進化していく中で、電子制御技術について改めて勉強したいと思った」と話す。日野が03年から開校している研修制度で、石井さん

は19期生として参加した。9月間に渡ってサービスマスターコースに求められる高度な整備診断技術、整備現場の運営マネジメントなど多岐にわたる知識について理解を深め、サービスマスターの称号を獲得した。現在はサブコントローラとして、先輩の指導、育成にあたりつつある。指導する際には「答えを全部教えないで、糸口を提示して解決に導くようにしている。成功体験を持ってもらいたい」と語る。



〈プロフィール〉いし・まさゆき 日本工科大学卒業、2009年4月入社。趣味は、エレクトロニクスやキャンプなど。東京都町田市出身、37歳。

ホンダモビリティ南関東

〈会社概要〉▽設立=1973年7月▽本社所在地=東京都世田谷区新町2-19-2▽代表者=高橋宗一郎社長▽社員数=4587人▽拠点数=190(新車160、中古車30)



ホンダカーズ埼玉新都心店 野村 直史さん
アニメ「インシヤルド」への興味から、スーパーGTやF1(フォーミュラワン)などのレースに対して関心を持つようになった。まずは、埼玉自動車大学校に入学し、自動車整備士の資格取得に向けて努力した。「やるなら最上位の資格を取りたい」とし、学生の時に1級を取得した。卒業後の進路選択では、地元の本拠地を就職先として選んだ。当時の愛車は「シビック」で、ホンダが好きだったため入社した。ホンダがF1に参戦していることも後押しとなった。入社当初は、点検や車検

お客さまの笑顔がモチベーション

「お客さまの笑顔がモチベーション」を大切にしている。整備の仕事にも携わるようになり、整備の楽しさを実感するようになった。「お客さまの車の故障をしっかりと直せた時にやりがいを感じる」と話す。故障診断については、最新の情報に基づいて、自己研鑽に努める。「お客さまに適切な診断をするため、高度な知識や経験が必要となる。今後も知識や経験を増やすため努力する日々が続く。



〈プロフィール〉のむら・なおみ 埼玉自動車大学校1級自動車整備科卒業、2021年4月入社。休日は愛車の「ステップワゴン」で家族と出かける。埼玉県上尾市出身、27歳。



ホンダカーズ東京中央田無中央店 高橋 昂平さん
ホンダカーズ東京中央田無中央店(東京都西東京市)の高橋昂平さんは、車好きの父親の影響を受け自動車整備士となった。就職する際には、資格を持っていくという考えで、地元の本拠地を就職先として選んだ。当時の愛車は「シビック」で、ホンダが好きだったため入社した。ホンダがF1に参戦していることも後押しとなった。入社当初は、点検や車検を中心に経験した。半年後には、現在所属

メーカー資格の取得へ努力重ねて

「時間がかかってもいいのでまずは自分で行ってみたい」と先輩に言われ作業している田無中央店の配属となった。高橋さんは田無中央店での勤務して早々、「N1BOX(エヌボックス)」のトルクコンバーター交換作業にあたった。これまで重宝にしていた「ホンダSEI」級を取得しようとしており、将来的にはホンダ最上級技術レベルの保有者「HMSG」の認定に向けても意欲的な姿勢を見せている。

取り組んだ。高橋さんは「たしかに当時は大変だったが、その時の経験が現在の仕事の仕方に生かされている」と語る。メーカーの資格取得に向けて努力している。ホンダSEI級を取得しようとしており、将来的にはホンダ最上級技術レベルの保有者「HMSG」の認定に向けても意欲的な姿勢を見せている。



〈プロフィール〉たかはし・こうへい ホンダテクニカルカレッジ関東卒業、2019年4月入社。趣味は旅行やサウナ。埼玉県飯能市出身、28歳。

ホンダカーズ群馬

<会社概要> ▽設立=1950年3月 ▽本社所在地=群馬県前橋市問屋町1-10-8 ▽代表者=都丸雄太社長 ▽社員数=471人 ▽拠点数=新車18、中古車3、商品化センター1



東部バイパス店 サービス 桐生 凌太郎さん

ホンダカーズ群馬(都丸雄太社長)東部バイパス店の桐生凌太郎さんは、昨年開催された「ホンダ四輪サービス技術コンクール」のフロントアドバイザー(FIA)コースで、初出場ながら全国大会へとコマを進めた成長著しい中堅メカニックだ。幼少期からオールジャンルのクルマに興味を持ち、工業高校、自動車整備専門学校へと進んだ。就職活動では、さまざまな選択肢を考えた中で、好きなメーカーの一つだったホンダディーラーを選んだ。

相手に応じ言葉を選び丁寧な説明

入社後は前橋問屋町店で約3年、現在の東部バイパス店で約2年勤務。その間、全国大会出場を経て、「参考になつた言い回しなどを店全体にも広めていき

に感じたのは、「お客さま対応の重要性」だった。「整備した内容をうまく説明するのは簡単ではない。相手に応じた言葉を選ぶ必要がある」と整備士は語る。同時に技術力の向上も今後の目標に掲げる。「お客さまの思い出をつくれるよう技術力と説明力でサポートをしていきたい。そこに整備士のやりがいがある」と話している。高志で臨んでいる。



プロフィール きりゅうりょうたろう 群馬自動車大学校卒、2021年4月入社。趣味は複数台所有するクルマの整備やカスタム。群馬県みどり市出身、25歳

富士スバル

<会社概要> ▽設立=1947年 ▽本社=群馬県前橋市本町2-11-2 ▽代表者=斎藤郁雄会長兼CEO、宮田亘社長兼COO ▽社員数=457人 ▽拠点数=新車16、中古車4



桐生店 サービス課 係長 吉本 潤さん

富士スバル桐生店の吉本潤さんは、入社13年のキャリアで、現場リーダーとして工場全体に目を配りながら、後輩の指導育成なども率先して行っている。

動きやすい職場づくりにも注力

入社時は基礎的な知識は習得していたが、実際に現場での整備方法やお客さまの車両の取り扱いなどの指導を先輩から受け、整備士を選んだ。

入社時は基礎的な知識は習得していたが、実際に現場での整備方法やお客さまの車両の取り扱いなどの指導を先輩から受け、整備士を選んだ。



バルチームのリースメカニックとして2021年より5年連続で年2レースほど参戦している。プロのドライバーと一緒に仕事ができる、普段味わえない緊張感は貴重な経験になっている。

プロフィール よしもと 潤 高山自動車短期大学自動車工学科を卒業後、2013年4月に入社。休日の過ごし方はゴルフ、自分のクルマの整備など。群馬県桐生市出身、35歳

ナオイオート

<会社概要> ▽設立=1977年6月 ▽本社=茨城県取手市680-1 ▽代表者=直井清正社長 ▽社員数=549人 ▽拠点数=32(車両販売事業部13、サービス事業部13、ボディショップ事業部6)



ボディショップ戸頭店 岡野 祐也さん

岡野さんは、入社8年目を迎えるベテランスタッフだ。これまで、牛久店、守谷店、龍ヶ岡店などで板金作業を経験し、半年前から戸頭店に勤務している。

いかに新車の状態に近づけるか

「プロフィール おかの・ゆうや 2018年4月入社で8年目。趣味は釣り。休日は買い物や子供の面倒を見るなど家族サービス中。茨城県つくば市出身、29歳

も変化するため、幅広い車に触れる機会があることが「楽しい」と笑顔を見せる。また、店舗ごとに備え付けられている工具なども違うため、店舗異動が多かったことは良い経験になったという。



岡野さんが板金作業で気づいているのは、いかに新車の状態に近づけるかを意識しているという。板金作業は、全く同じ作業内容はないため、「毎日の作業は異なる」と語る。今後の岡野さんの活躍に期待がかかる。

長野ダイハツモーターズ

<会社概要> ▽設立=1961年2月 ▽本社=長野県長野市2142-2 ▽代表者=金子昌弘社長 ▽社員数=324人 ▽拠点数=新車12、中古車12、商品化センター1



上田原店 サービススタッフ 山本 賢さん

長野ダイハツモーターズ(金子昌弘社長)上田原店に勤務する山本賢さんは、趣味のバイク好きが高じてメカニックを志した。整備

学校ではなく、同社で働きながら2017年國家3級自動車整備士、21年國家2級、25年自動車検査員取得と順調にステップアップ。23年にはダイハツサービス技術検定で最高位の1級にも合格し、同社自慢のメカニックだ。

お客さまからの感謝にやりがい

プロフィール やまもと・さとし 2016年長野県佐久平総合技術高等学校卒、4月入社。愛車は「ミライース」とヤマハXR400。整備も車検も自分で行う。夏はツーリング、冬はスノーボードを楽しんでいる。長野県小諸市出身、29歳

同社は高卒や中途の採用に積極的で、未経験でも実務経験を積みながら研修など教育指導制度で整備士資格の取得を目指すことができる。工場内はエアコンや出入口シャッターなどで冷暖房を整え、



工具統一化による収納ケースや工具など

